

2018年度 決算説明会資料

TOYO
東洋機械金属株式会社

2019年4月25日

証券コード
6210

目次

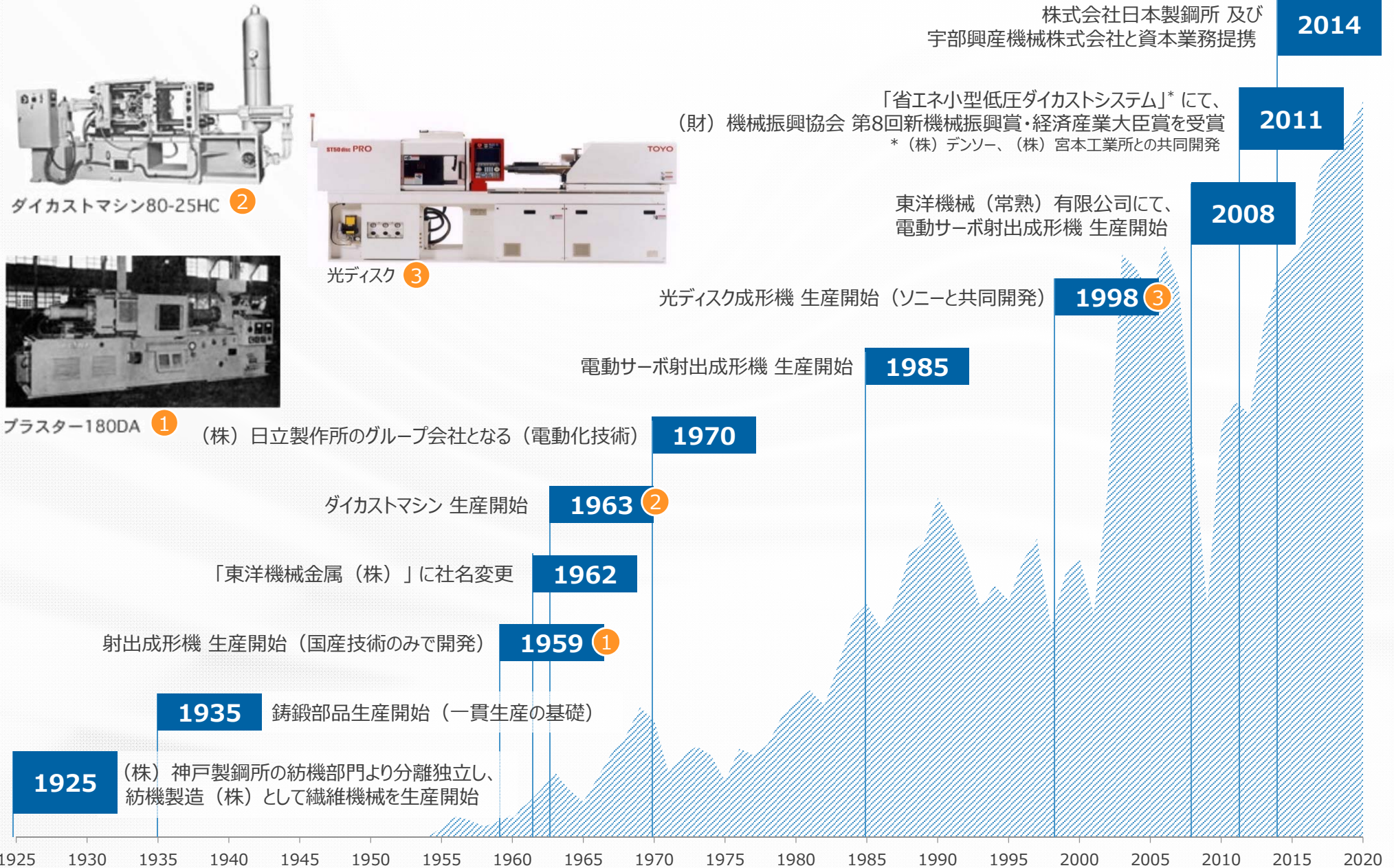
1. 会社概要	2
2. 2018年度 決算概要	5
3. 2019年度 決算予想	12
4. 中期経営計画	19
5. SDGsへの貢献	27
6. <Appendix>	29

会社概要

会社概要

商号	東洋機械金属株式会社 TOYO MACHINERY & METAL CO.,LTD.
創業	1925（大正14）年5月16日
資本金	25億円（東証第一部）
代表者	代表取締役社長 十亀 和則（Sogame Kazunori）
従業員数	749名（2019年3月連結）
営業品目	プラスチック射出成形機・関連商品 ダイカストマシン及び周辺自動機・関連商品
本社・工場	兵庫県明石市二見町福里523-1
URL	http://www.toyo-mm.co.jp/

会社沿革



2018年度 決算概要

2018年度決算実績

豊富な受注残から売上高は、国内・アジアで増加し、前年をクリア
営業利益、経常利益は、前期と比較して、共にほぼ横ばい

項目 単位：百万円	2017年度 実績	2018年度 実績	前期比 増減	前期比 増減率	2018年度 修正計画	修正 計画比
受注高	35,019	31,079	△3,940	△11.2%	33,000	△1,921
売上高	30,878	31,780	+902	+2.9%	31,500	+280
営業利益	2,057	2,054	△3	△0.1%	2,150	△96
営業利益率	6.7%	6.5%	△0.2P	—	6.8%	△0.3P
経常利益	2,130	2,137	+7	+0.3%	2,190	△53
親会社株主に帰 属する当期純利 益	1,407	1,344	△63	△4.5%	1,410	△66
1株当たり 当期純利益	74.86円	71.30円	△3.56円	—	74.85円	△3.55
<参考> 為替レート (USD)	106円	111円	+5円	—	105円	+6円

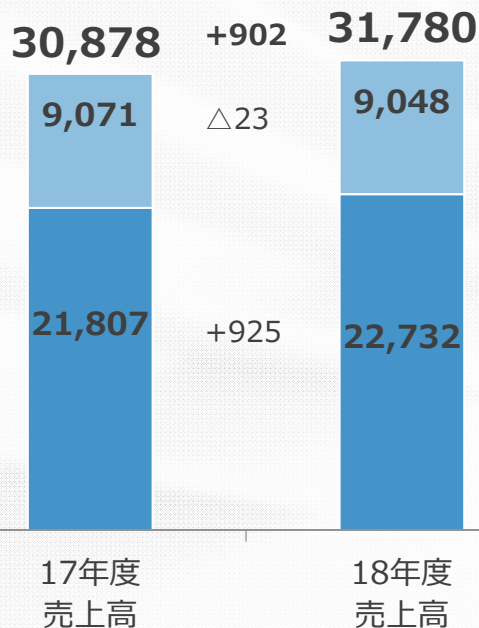
売上高・営業利益の増減要因分析

売上高は、射出成型機は伸長、ダイカストマシンはほぼ横ばい。
 営業利益は、特に材料仕入価格の高騰や主要部品の長納期化対策費などが嵩み、
 前期とほぼ同水準にとどまった。

売上高

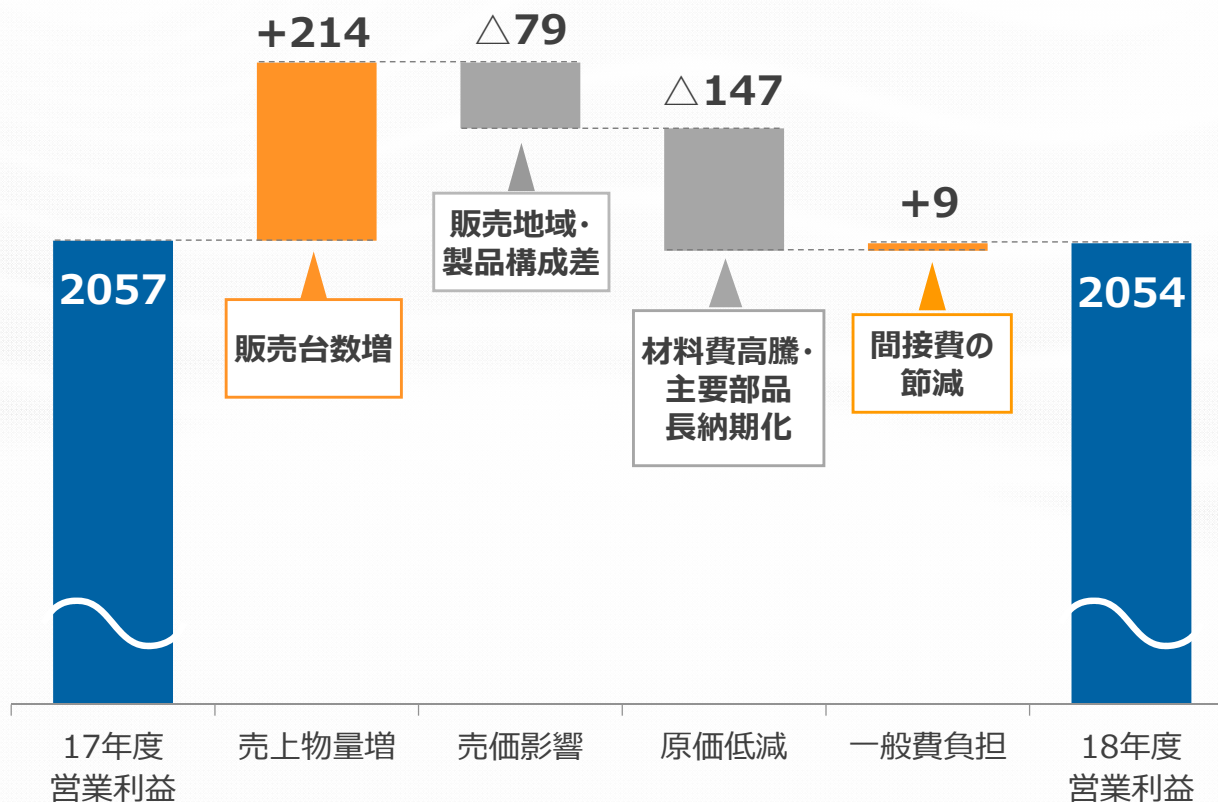
(単位：百万円)

- 射出成型機
- ダイカストマシン



営業利益増減要因分析

(単位：百万円)



製品別受注高・売上高・受注残高

受注高は310億円（前期比△40億円）、受注残高は112億円（前期比△7億円）

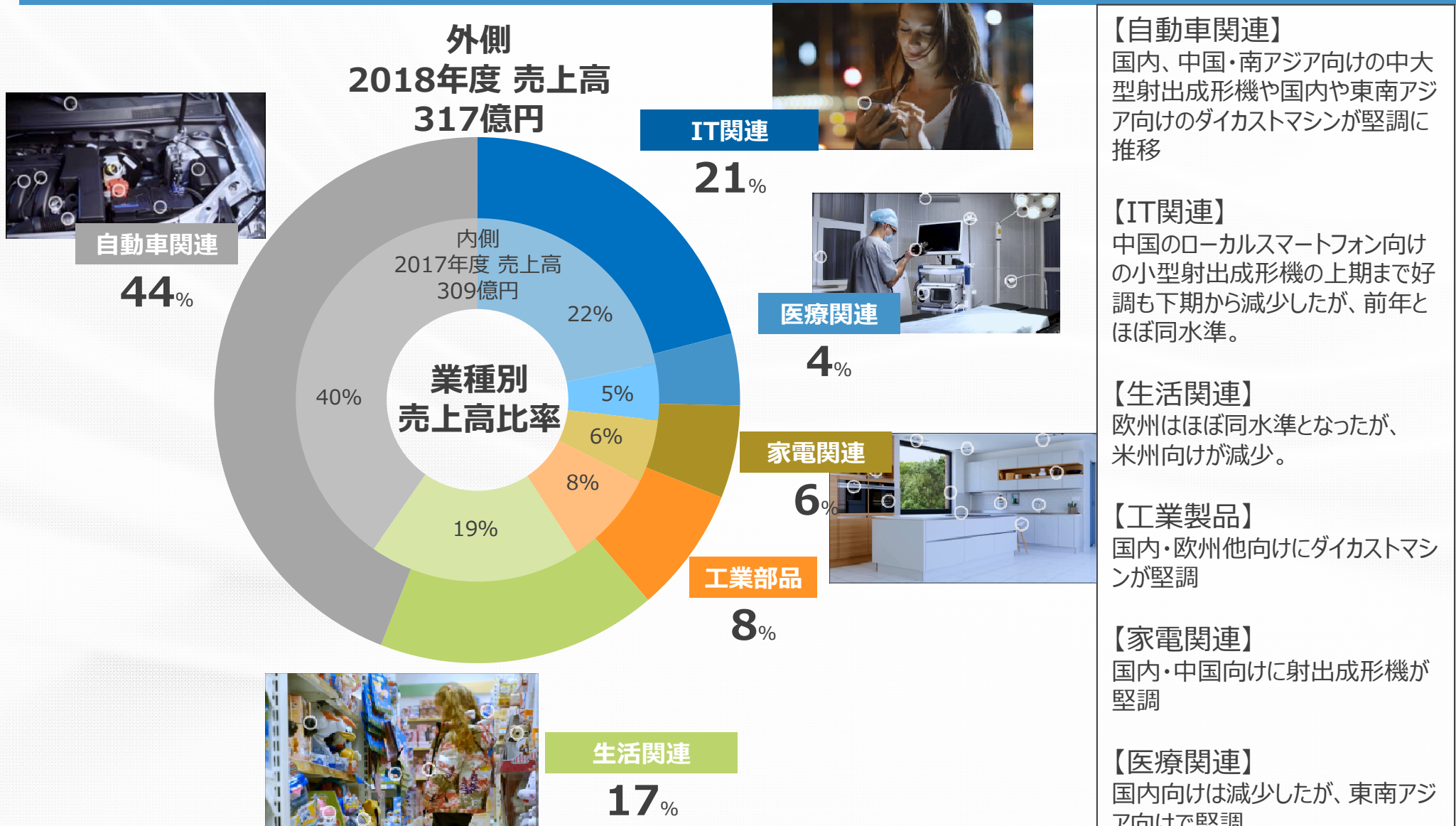
射出成形機 (単位:百万円)	2017年度 実績	構成比	2018年度 実績	構成比	増減	増減率
受注高	26,189	75%	22,013	71%	△4,176	△15.9%
(内、海外)	(17,927)	(68%)	(13,923)	(63%)	(△4,004)	△22.3%
売上高	21,807	71%	22,732	72%	+925	+4.2%
(内、海外)	(14,856)	(68%)	(14,853)	(65%)	(△3)	△0.0%
受注残高	9,622	81%	8,902	79%	△720	△7.5%

ダイカストマシン (単位:百万円)	2017年度 実績	構成比	2018年度 実績	構成比	増減	増減率
受注高	8,830	25%	9,066	29%	+236	+2.7%
(内、海外)	(5,343)	(61%)	(6,327)	(70%)	(+984)	+18.4%
売上高	9,071	29%	9,048	28%	△23	△0.3%
(内、海外)	(6,257)	(69%)	(6,002)	(66%)	(△255)	△4.1%
受注残高	2,305	19%	2,324	21%	+19	+0.8%

※構成比の欄は受注高、売上高、受注残高における射出成形機とダイカストマシンの構成比。それぞれの海外比率を括弧書き表記しています。

業種別売上高の動向

自動車関連向けが射出成形機、ダイカストマシン共に堅調に推移し、
売上高構成比44%まで上昇



【自動車関連】

国内、中国・南アジア向けの中大型射出成形機や国内や東南アジア向けのダイカストマシンが堅調に推移

【IT関連】

中国のローカルスマートフォン向けの小型射出成形機の上期まで好調も下期から減少したが、前年とほぼ同水準。

【生活関連】

欧州はほぼ同水準となったが、米州向けが減少。

【工業製品】

国内・欧州他向けにダイカストマシンが堅調

【家電関連】

国内・中国向けに射出成形機が堅調

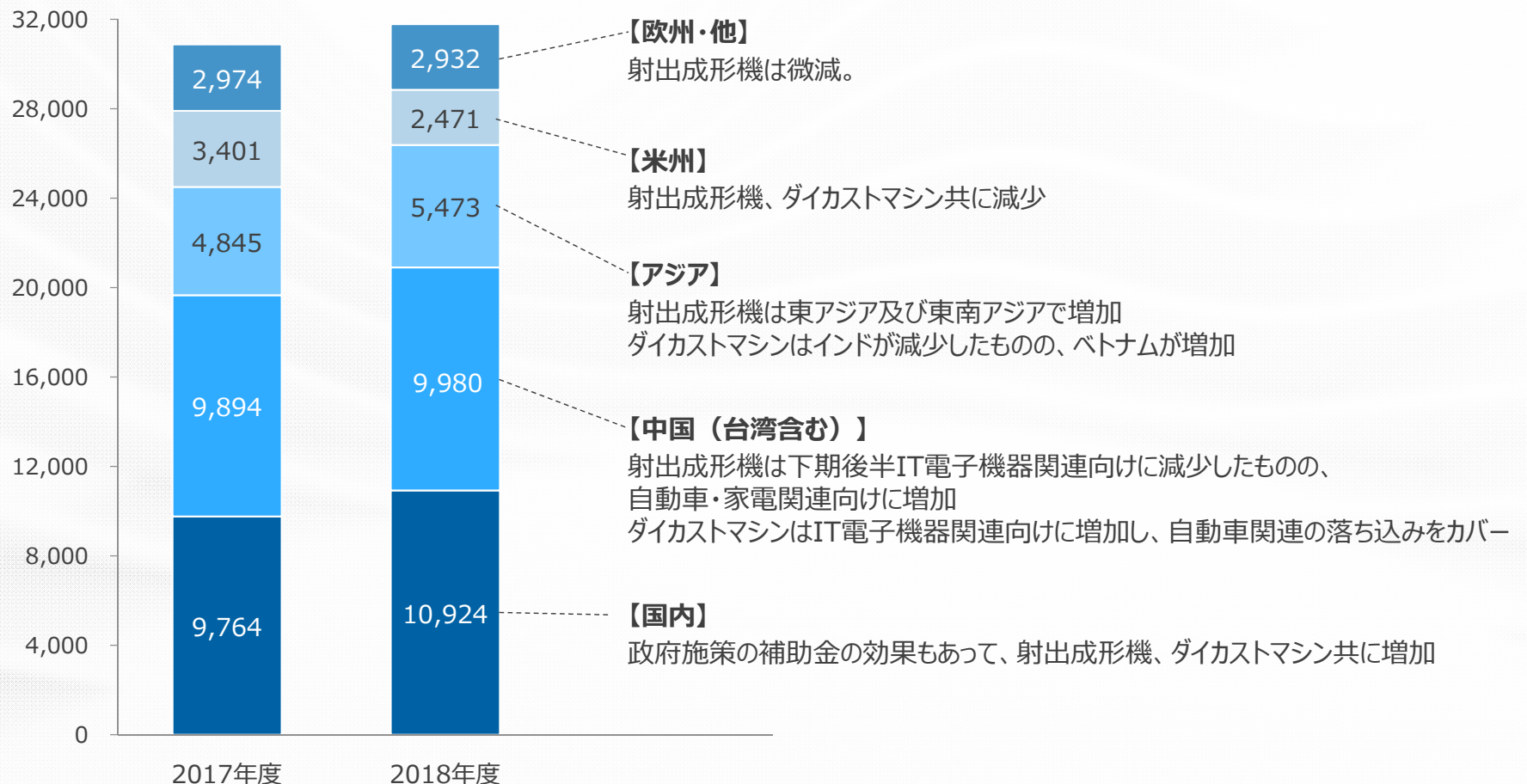
【医療関連】

国内向けは減少したが、東南アジア向けで堅調。

地域別売上高の動向

国内およびアジア向けは堅調だが、米州向けが2桁減少

地域別売上高推移 (単位:百万円)



トピックス

主力射出成形機「Si-6S」シリーズ フルラインアップ完了

新制御 SYSTEM800 を搭載！
最新電動サーボ射出成形機『Si-6S小型シリーズ』
中大型機に続いて小型機を市場投入

SMART MOLDING
“射出成形機をよりシンプルに、スマートに”

情報の集約と利便性の向上を目的とした
新制御『SYSTEM 800』



Si-6S series



18.5インチ 大画面ワイドカラーLCDの
HMI (Human Machine Interface)
静電容量方式マルチタッチパネルを搭載し、
高級感とスマートフォン感覚の操作性を両立

2019年度 決算予想

2019年度業績見通し

受注高、売上高ともにほぼ横這いを見込む
材料仕入れ及び主要部品のコスト高是正により、営業利益率の改善を見込む

項目 単位：百万円	2018年度 実績	2019年度 予想	前期比 増減	前期比 増減比率
受注高	31,079	31,000	△79	△0.2%
売上高	31,780	32,000	+220	+0.6%
営業利益	2,054	2,200	+146	+7.1%
営業利益率	6.5%	6.9%	+0.4P	—
経常利益	2,137	2,200	+63	+2.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,344	1,350	+6	+0.4%
1株当たり 当期純利益	71.30円	65.66円	△5.64円	△7.9%
<参考> 為替レート (USD)	111円	110円	△1円	—

製品別受注高・売上高・受注残高見通し

受注高は310億円（前期比△79億円）、
受注残高は102億円（前期比△10億円）を予想

射出成形機 (単位:百万円)	2018年度 実績	構成比	2019年度 予想	構成比	増減	増減率
受注高	22,013	71%	22,000	71%	△13	△0.1%
(内、海外)	(13,923)	(63%)	(14,000)	(64%)	+77	+0.6%
売上高	22,732	72%	23,000	72%	+268	+1.2%
(内、海外)	(14,853)	(65%)	(15,000)	(65%)	+147	+1.0%
受注残高	8,902	79%	7,902	77%	△1,000	△11.2%

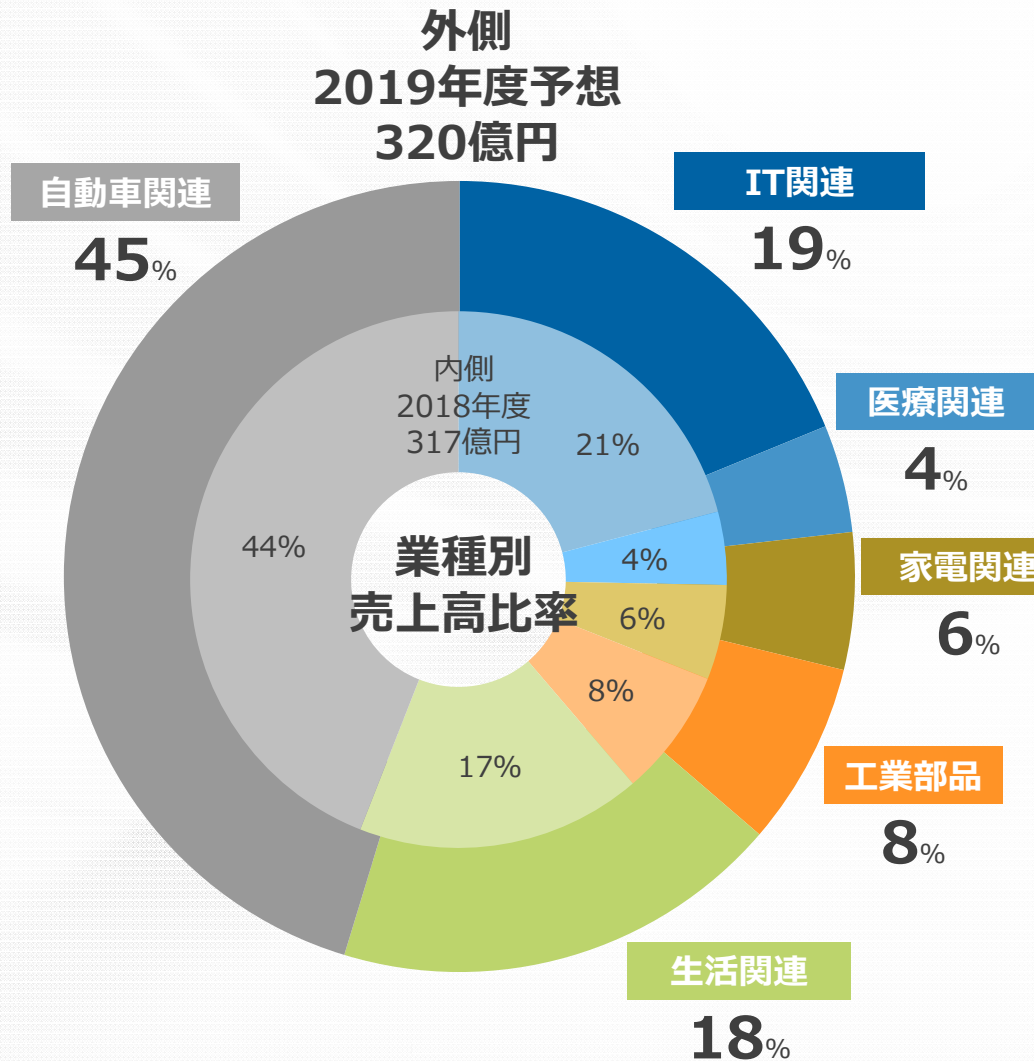
ダイカストマシン (単位:百万円)	2018年度 実績	構成比	2019年度 予想	構成比	増減	増減率
受注高	9,066	29%	9,000	29%	△66	△0.7%
(内、海外)	(6,327)	(70%)	(6,000)	(67%)	△327	△5.2%
売上高	9,047	28%	9,000	28%	△47	△0.5%
(内、海外)	(6,002)	(66%)	(6,000)	(67%)	△2	△0.0%
受注残高	2,324	21%	2,324	23%	±0	±0.0%

※構成比の欄は受注高、売上高、受注残高における射出成形機とダイカストマシンの構成比。それぞれの海外比率を括弧書き表記しています。

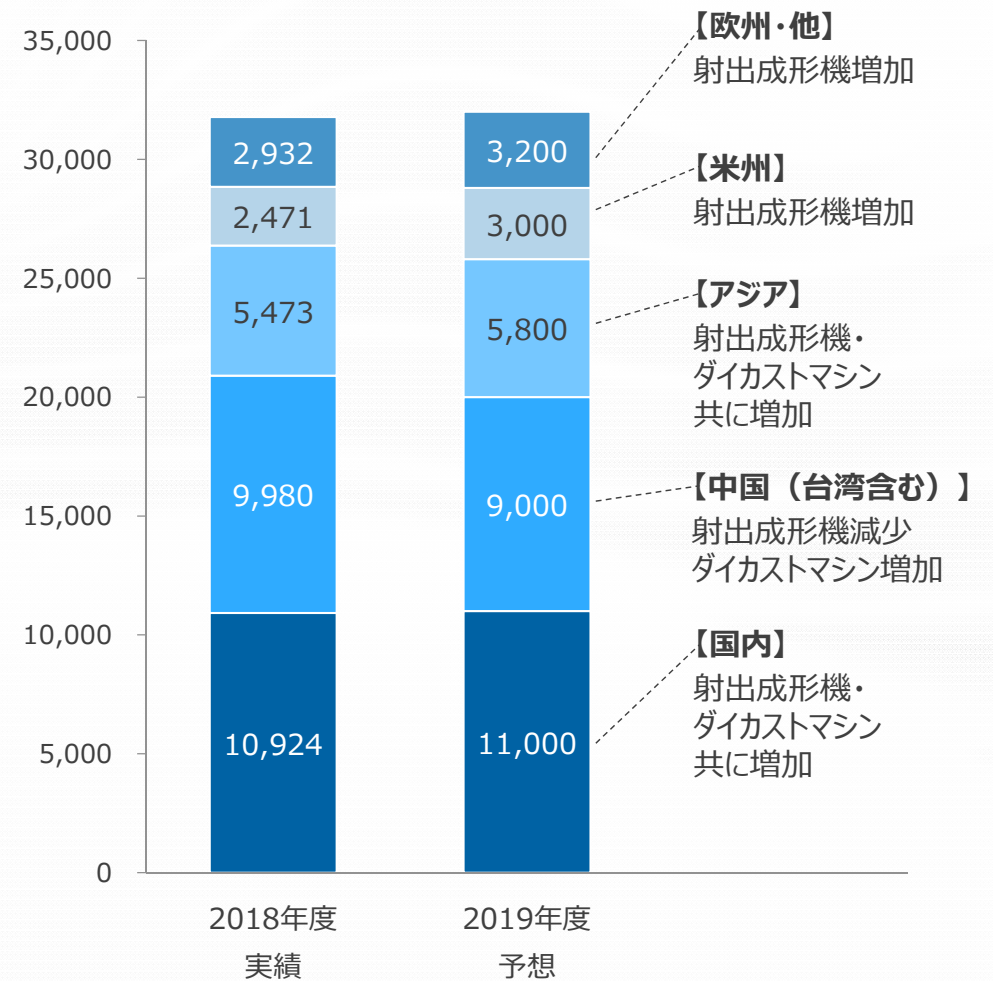
業種別・地域別売上高の見通し

自動車部品関連向けを強化

業種別売上高構成見通し



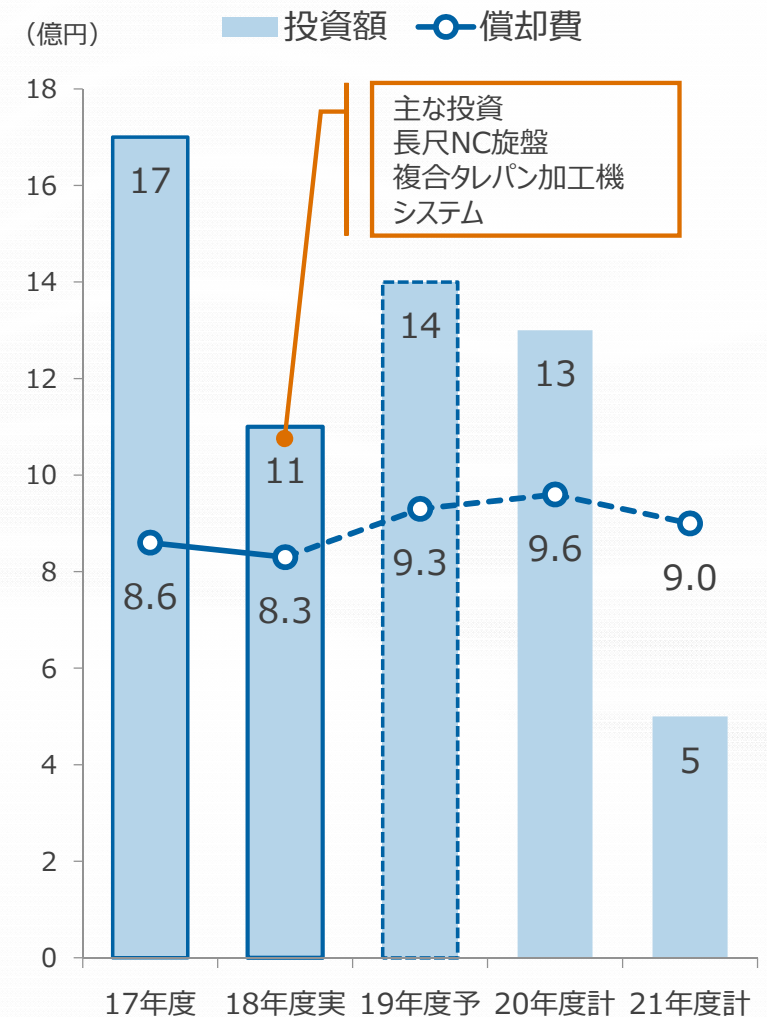
地域別売上高見通し



設備投資・減価償却費

主な投資計画内容

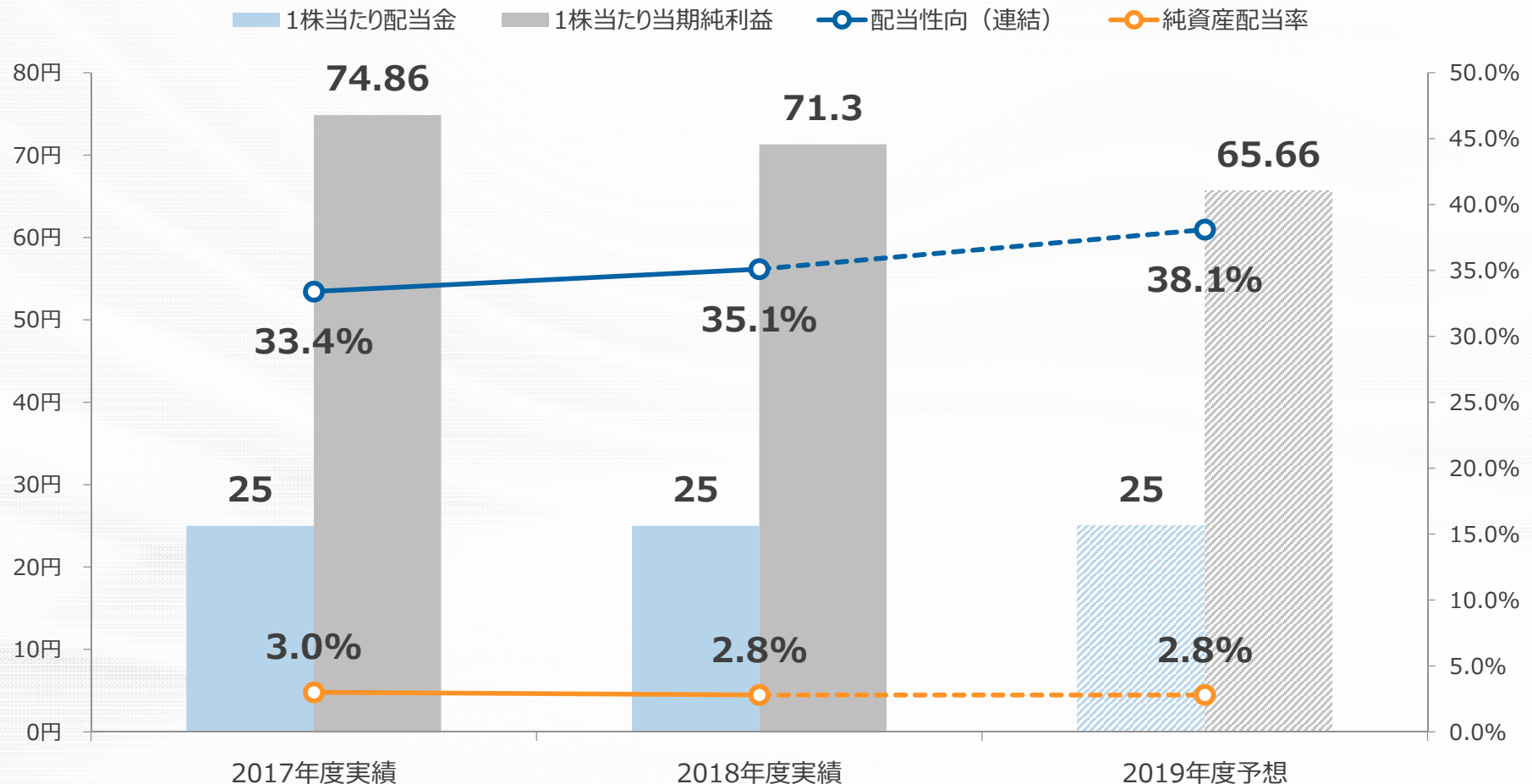
(2018年度～2021年度)		総投資額
建屋		25億円
中大型組立工場増設		
自動倉庫新築（鋳物、制御、中大型組立）		
サービスセンター新築		
その他現有資産維持投資		
工作機械		12億円
自動加工	マシニングセンター、ターニングセンター	
汎用加工	長尺NC旋盤	
製缶	複合タレパン加工機	
システム		3億円
設備投資計画総額		40億円



株主還元方針

2018年度は、1株につき25円の配当を実施
2019年度は、1株につき25円の配当を予定

1株当たりの配当金・当期純利益、配当性向、純資産配当率



主要取引先との関係強化と設備投資資金の調達

第三者割当による自己株式の処分を実施

払 込 期 日	2019年4月17日（水）		
処分する株式の種類及び数	普通株式 1,700,000株		
処 分 価 額	1株につき603円		
調 達 資 金 の 額	1,025,100,000円		
処 分 先	株式会社マルカ	アメリカとアジアに23拠点、60年以上の海外取引を活かした国際ネットワークを有する商社	600,000株
	株式会社山善	生産財・住設建材・家庭機器の3つの事業領域における専門商社	600,000株
	第一実業株式会社	製造・販売・サービス一帯のソリューション力を活かし、多様化するニーズに先行して応え続ける専門商社	400,000株
	安田工業株式会社	世界最高峰の超高精度の工作機械の開発に取り組んでいる。当社製品に搭載する主要部品の切削・研磨を行っている。	100,000株
そ の 他	本自己株式処分については、金融商品取引法に基づく届け出の効力発生を条件としております。		

中期経営計画 TOYO Great Global Plan 2020

創業100周年（2025年）に向けた企業像

VISION

顧客に役立つモノづくりを行い、
事業を通じて社会の進歩発展に貢献する

成形機専門メーカーとして
業界や地域社会に対して存在感を示し、
信頼・期待される企業を目指す

射出成形機

ダイカストマシン

Customer's Value Up

中期経営計画

「TOYO Great Global Plan 2020」

独自技術開発

持続的発展

グローバル戦略の発展と
構造改革

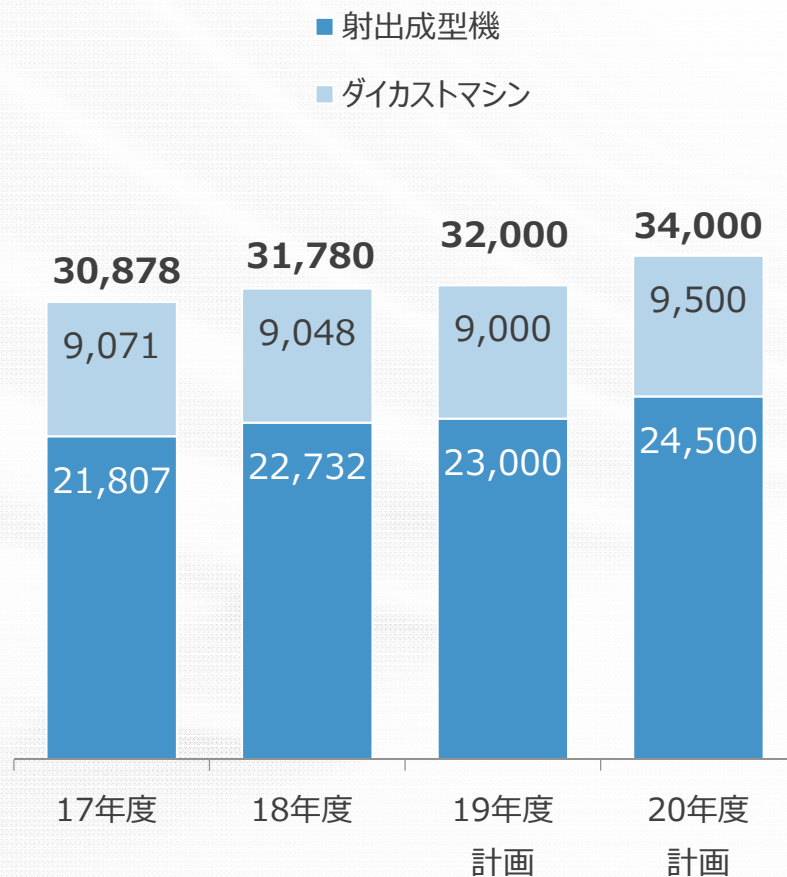


顧客価値創造型製品群の
市場投入

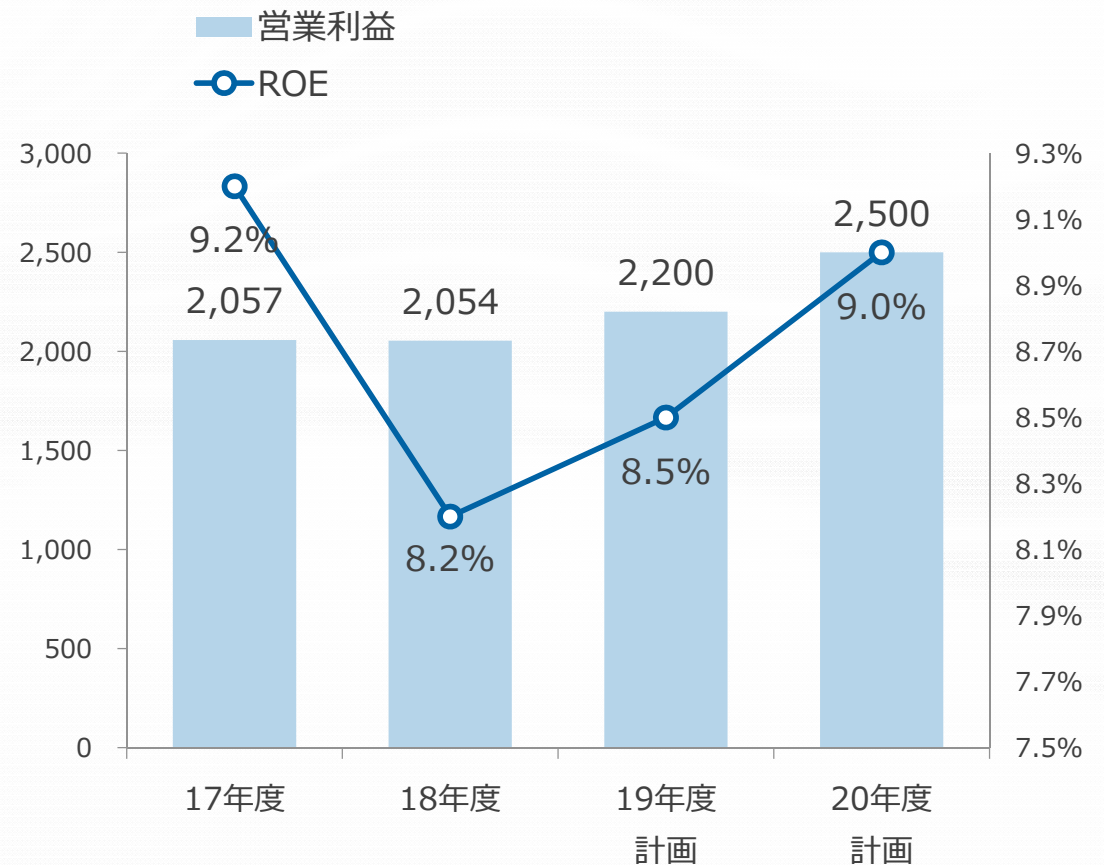
中計の進捗状況

米中貿易摩擦の影響を懸念し、IT電子機器関連の需要が停滞したことを受けて、19年度の売上高目標を5億円下方修正。材料仕入価格の高騰や主要部品の長納期化に伴う生産効率低下などにより、19年度および20年度の営業利益目標をそれぞれ2億円、3億円下方修正。

売上高



営業利益・ROE



課題と修正ポイント

創業100周年（2025年）に向けた事業競争力の強化や経営体質のスリム化により
強靱な企業体質の確立の推進

課題

売上高は過達も、営業利益が未達の状況

売上拡大、シェア拡大が
利益拡大に結び付かなくなっている

多品種生産によるコスト高

本社・明石工場

用地拡大に限界
工場建て替えによる
増産対応中心

中国・常熟工場

中国での地産地消を
ベースに拡大を目指す

修正ポイント

自社の強みを活かしながら、利益の最大化を目指す

顧客ニーズに対応した開発型メーカー
カスタマイズ対応型ビジネスでの利益創出

技術力の強化

- 顧客との新規開発テーマの創出
- 大学等との共同開発

多品種生産を維持しながら

- 部材の共通化
- 機構部品の汎用化
- 自動倉庫による部品管理
- 中大型機種での作り込み
等への取り組みを推進

注力業界と製品分野の動向

グローバル成長エリア・市場に注力し、技術対応を推進

ターゲット市場	顧客ニーズ	日本	中国	アジア	欧米	技術対応
情報端末	高精度・薄肉 ハイサイクル成形	○	◎	○		ハイレスポンス・射出圧縮
自動車 電動・自動運転 対応	EV化（電池、セン サー、カメラ等）	◎	◎	○	○	顧客ニーズに対応するカスタ マイズ提案
	軽量化・薄肉化 （内装部品）	◎	◎	○	○	物理発泡成形
	環境・省エネ・ 生産性向上	◎	◎	○	◎	電動ダイカストマシン
食品・医療	クリーンな製造現場	◎	○		◎	電動機によるダウンサイジング
その他市場	成形品生産の歩留 まり向上	◎	○	○	◎	SAG+α II ガス抑制スクリー
	IoT対応	◎	○	○	○	T-Station Lite Ver.2、T- Remote

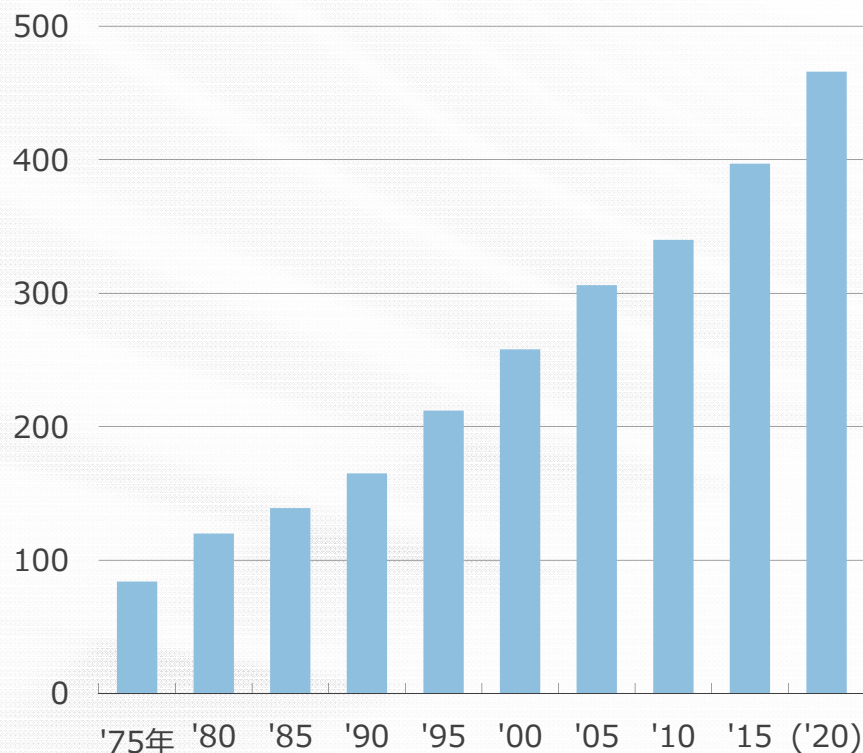
施策・取組み①

電気自動車向け構造部品の軽量化、複雑形状部品の一体化・大型化への対応



ダイカストマシンの型締め力アップが製品の薄肉大型化を図る上で必要不可欠

自動車1台あたりのアルミ使用量 (単位: ポンド)



出典: 金型新聞 (2018年12月3日)



BD-1000V6EX

自動車部品のターゲット鋳造アイテム

- ①バルブボディ
- ②PCUケース
- ③コンプレッサーハウジング
- ④ステアリングラックハウジング

などが鋳造可能

施策・取組み② - 1

自動車のマルチマテリアル化と成形加工によるアプローチ

高機能・高付加価値化

組立工数の削減

意匠性の向上

一つの部品に複数の素材を組合せ、複数の機能を同時に実現し、組立工数の削減や意匠性の向上などの検討。⇒ 部品の**マルチマテリアル化**

F RTPのフリップレグシートと金属部品をインサートした成形品



引用) <https://www.basf.com/>

成形機のカスタム化

成形品の
合理化

(複合成形などによる部品の一体化)

異材質接合技術
(金属-樹脂, 樹脂-樹脂)

材料置換
(高強度・軽量化)

成形加工
(発泡や中空,
加飾,H&C など)

樹脂可塑化技術

成形加工技術

施策・取組み②-2

独自の成形加工技術・可塑化技術の開発

成形加工技術

- ◆ 高応答・射出圧縮成形
 - ◆ FRTPハイブリッド成形
 - ◆ 射出発泡成形
 - ◆ ホットメルト封止成形
 - ◆ Multi-Mold
- など

可塑化技術

- ◆ スクリュ形状最適化技術
 - ◆ N-MCP物理発泡システム
 - ◆ SAG+α可塑化システム
 - ◆ フッ素樹脂用可塑化装置
 - ◆ 長繊維樹脂可塑化技術
- など

成長が期待される分野への技術対応力強化

自動車CASE化

5G次世代通信

医療機器



Si-6Sシリーズ

SDGsへの貢献

SDGsへの貢献

SDGsへの貢献に向けた活動を推進

ダイカストマシンの電動化

- 駆動オイルの使用削減
- クリーン対応
- 省エネ・環境対応



高効率射出成形機の開発

- 製品不良の削減
- 樹脂製品の薄肉化
- 電気自動車の普及貢献



ガバナンス体制の強化推進

- リスク管理の充実
- コンプライアンスの徹底



経営基盤の強靱化

- 労働生産性の向上
- 活気ある働きやすい職場作り
- ステークホルダーとの良好な関係を継続



Appendix

貸借対照表 (B/S)

資産の部	2017年度 実績	2018年度 実績	増減	コメント
流動資産	19,946	21,030	+1,084	受取手形及び売掛金は13億円減少したものの、現金及び預金、棚卸資産の増加により、流動資産は10億円の増加となった。
現金及び預金	4,460	5,613	+1,153	
受取手形及び売掛金	7,323	5,936	△1,387	
棚卸資産	5,700	6,644	+944	
固定資産	7,867	8,050	+183	システムの改修に向けたソフトウェア仮勘定の増加もあり、固定資産は1.8億円増加した。
有形固定資産	6,573	6,544	△29	
無形固定資産	384	565	+181	
投資その他資産	909	940	+31	
資産合計	27,813	29,080	+1,267	

負債・純資産の部	2017年度 実績	2018年度 実績	増減	コメント
負債合計	11,661	12,041	+380	借入金の返済が進み有利子負債残高は1.5億円減少したものの、買掛金等の仕入債務の増加等により流動負債を中心に3.8億円増加した。
支払手形及び買掛金	X x x	X x x		
有利子負債残高	1,450	1,300	△150	
純資産合計	16,152	17,038	+886	親会社株主に帰属する当期純利益等の計上による利益剰余金の増加額約9億円が寄与。自己資本比率は前期57.3%を若干上回る57.4%となった。
負債純資産合計	27,813	29,080	+1,267	

キャッシュフローの増減

フリー・キャッシュフローは18億円と前期比+25億円

	2017年度 実績	2018年度 実績	増減	変動要因
営業活動による キャッシュ・フロー	924	2,438	+1,514	たな卸資産の増加等があったものの、売上債権の回収が進んだことや、仕入債務の増加により、24億円の収入となった。
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,544	△601	+943	前期の工場建屋の増改築等の大型投資が一段落したこともあり、支出が前期15億円から6億円へと減少した。
財務活動による キャッシュ・フロー	△281	△623	△342	借入金の返済や配当金の支払いにより6億円の支出となった。
現金及び現金同等 物に係る換算差額	41	△60	△101	
現金及び現金同等 物の増減額	△859	1,152	+2,011	前期のマイナス8億円から今期は11億円のプラスに転換。
現金及び現金同等 物の期首残高	5,319	4,460	△859	
現金及び現金同等 物の期末残高	4,460	5,613	+1,153	56億円となり、前期から11億円の増加となった。

財務データ（時系列）

項目	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期
売上高 (百万円)	26,005	26,664	27,707	30,878	31,780
営業利益 (百万円)	1,885	1,800	1,823	2,057	2,054
経常利益 (百万円)	1,997	1,813	1,822	2,130	2,137
当期純利益 (百万円)	1,631	1,863	1,505	1,407	1,344
包括利益 (百万円)	2,106	1,735	1,361	1,552	1,297
売上高営業利益率	7.3%	6.8%	6.6%	6.7%	6.5%
売上高経常利益率	7.7%	6.8%	6.6%	6.9%	6.7%
売上高当期純利益率	6.3%	7.0%	5.4%	4.6%	4.2%
現金及び預金 (百万円)	5,430	5,027	5,319	4,460	5,613
借入金・社債 (百万円)	1,050	1,750	1,350	1,450	1,300
純資産額 (百万円)	13,160	13,934	14,976	16,152	17,038
総資産額 (百万円)	23,368	24,528	26,264	27,813	29,080
自己資本比率	55.6%	56.1%	56.3%	57.3%	57.7%
自己資本利益率	13.47%	13.93%	10.55%	9.17%	8.22%
配当性向	12.63%	16.26%	21.20%	33.40%	35.06%
役員・従業員数	699人	706人	705人	729人	749人

製品別・地域別データ（時系列）

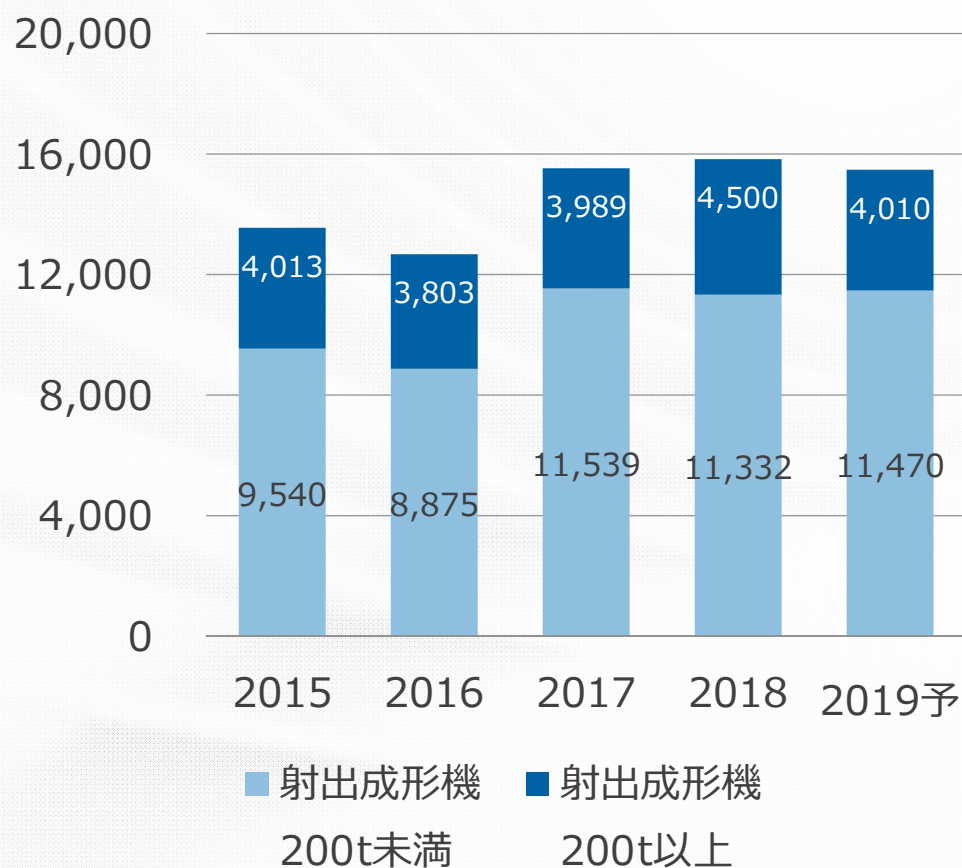
製品別売上高推移（百万円）	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期
射出成形機	18,076	19,517	19,896	21,807	22,732
ダイカストマシン	7,929	7,147	7,811	9,070	9,048

地域別売上高推移（百万円）	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期
国内	7,045	8,815	9,563	9,764	10,924
中国	9,036	6,927	7,017	9,894	9,980
アジア	4,476	4,789	4,856	4,845	5,473
米州	3,285	3,631	3,395	3,401	2,471
欧州	2,163	2,502	2,876	2,974	2,932

事業環境の概要

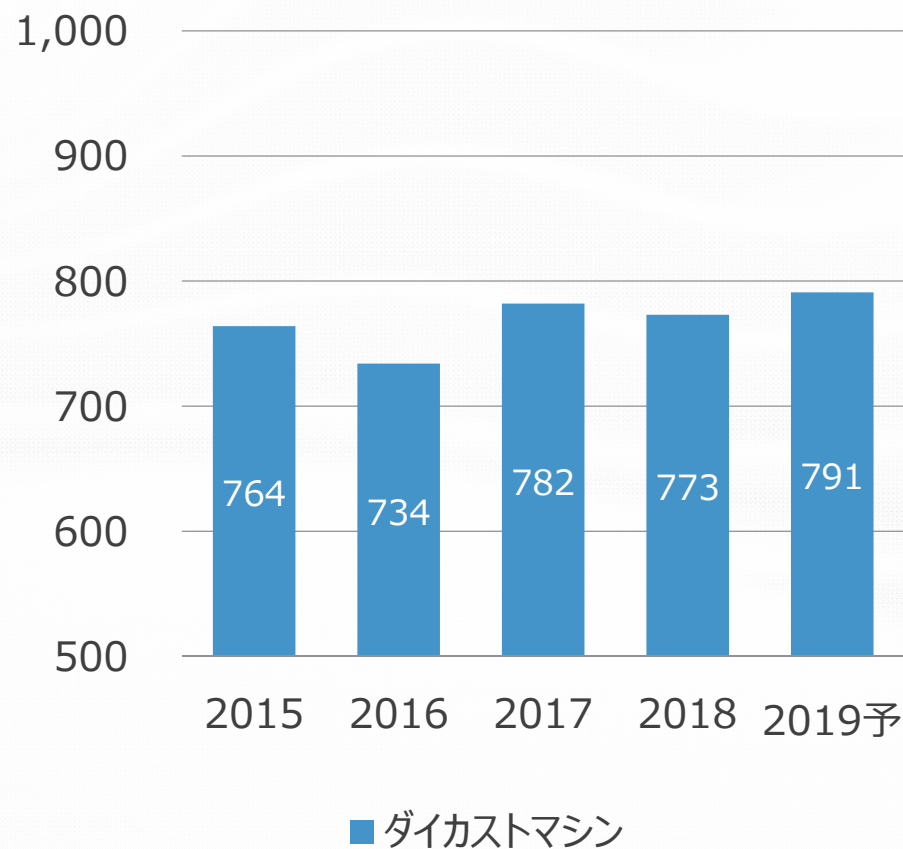
業界の射出成形機とダイカストマシンの出荷台数

射出成形機出荷台数



出典：日本産業機械工業会（予測は2017年時点）

ダイカストマシン出荷台数



出典：日本ダイカストマシン工業会（予測は2019年3月時点）

本資料に記載している将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で把握可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因の変化によって見通しと大きく異なる場合があります。

TOYO

Customer's Value Up

連絡先 東洋機械金属株式会社 経営企画室

TEL. (078)942-2345(代表)

FAX. (078)943-7275

URL. <http://www.toyo-mm.co.jp>